

令和6年度 屋代南高等学校 学校評価表（最終評価）

学校教育目標							
校訓:誠実と自発							
教育方針							
①一人ひとりを尊重する教育を実践する ②自主性を重んじ個性の伸長を図る ③豊かな情操と自立の精神を育てる ④地域との連携を深め、郷土を愛する心を育てる							
重点目標(中・長期的目標)				総合評価			
学校生活や地域と連携した様々な活動を通して、主体的に学ぶ姿勢と健康で豊かな心を持った生徒を育成する。							
今年度の重点目標				評価(成果と課題)			
1	生徒一人ひとりの規範意識を高め、自覚と責任ある行動を促し、人権を尊重する心を育て、いじめのない安心・安全な学習環境を確立する。			学年集会等で指導を重ねたことで、生徒の人権意識を高めることができた。一方で、SNSの利用マナーや貴重品等の自己管理、自ら行動する姿勢については更なる向上を図る。	B		
2	個々の生徒が志望する進路の実現を目指し、基礎学力の向上と、進路先で対応できる学力をつけるための、きめ細やかな学習指導を展開する。			タブレットや学習アプリを用いた新たな形態の学習指導を積極的に行った。基礎学力の向上のための学び直しや、個別最適な学びと協働的な学びを一体化した取り組みについて更に研究していく。	B		
3	生徒会活動やクラブ活動の活性化と充実をはかる。また、外部との交流も積極的に行い、地域から信頼される学校づくりを目指す。			生徒会が主体となって充実した文化祭やクラスマッチを実現することができた。クラブ活動の活性化に向けた具体的な工夫については今後も大きな課題とする。	B		
分野	評価項目	重点目標	評価の観点	成果と課題	改善策・向上策	評価	
教育活動	学習指導	基礎学力の向上	2	基礎学力を定着させるために「難しいことをやさしく、やさしいことを丁寧に教える授業」を展開することができた。また、ICTを有効活用した自主学習等に取り組ませることができた。	年2回の授業評価アンケートでは、授業理解や教員の授業の工夫について肯定的な回答が多く、「わかる授業」を展開できた。また、一人一台端末を用いてロイロノート、KahootなどのICT教材を有効活用することで、生徒の自主学習を促すことができた。	授業評価アンケートに、生徒同士が話し合う場のある授業を望む回答があり、さらに生徒の主体的な学びを実現する授業づくりの研究を各教科で進める。	B
			1	生徒の知的好奇心を喚起し、主体的に学習活動へ取り組めるよう工夫を重ねた指導をすることができた。また、生徒が積極的に対話的な学びが行えるよう支援することができた。	グループ学習、スライドを用いたプレゼンテーションなど、様々な教科で生徒が主体的・対話的に取り組むための工夫された授業を行うことができた。	各教科で実践している工夫や取り組みを教員間で共有する機会を設け、より一層充実した主体的対話的な授業の実現を図る。	B
			2	生徒一人一人の学習到達度に応じて、補習等の指導や声掛けをすることができた。また、個々の進路希望や実力に応じ、進路実現のためのきめ細やかな指導を行うことができた。	観点別評価の実施により、生徒一人一人に適した指導や声掛けをすることができた。また、朝や放課後に補習を行うなど、生徒の進路実現に向けた学力補充の機会も設けた。一方で学力差への対応については不十分である。	係や学年を中心として、生徒に身に付けさせたい力を明確にし、中・長期的な計画に基づく学習指導ができるよう校内体制を整える	B
			2	選択授業等において、各生徒の多様な進路選択に対応できうる編成をすることができた。	生徒の進路希望に応じた選択授業を開講し、個別面談等を通して進路実現に向けた選択をさせることができた。	教科主任会を中心として、継続した審議を重ねていく	B
	進路指導	キャリア教育の充実と進路意識の向上	2	健全な職業観育成を図るためにインターンシップに積極的に参加させる指導ができた。また、進路講話・説明会・ガイダンスを必要に応じて開催し参加させることにより、生徒の進路意識を高めることができた。	2年生の就職希望者全員と進学希望者を対象に、夏休みのインターンシップを行った。製造業・接客業など地元企業を知り、仕事が経験できる貴重な機会となった。 12月以降は就職支援員や係との面談を行い、本人の希望や適性をもとに希望職種を考えた企業調べを行った。校内において業者による進路ガイダンスを学年ごとLHR等で行い、進路への意識づけを行うことができた。	インターンシップは就職への意識づけや企業調べをする有益な活動となるため、なるべく希望する企業や職種のインターンシップができるように受け入れを開拓してゆきたい。 3年生は「進路の手引き」を全員購入している。1、2年生にも「進路の手引き」の必要箇所を印刷しクラスに配布して、推薦基準、準備すべきこと、日程、先輩の進路先などを早めに知らせ、進路への意識づけをさせていきたい。	B
			2	3年間を見通した進路指導計画を作成し、一人ひとりの希望進路実現に向けてきめ細かく支援することができた。また、各種模試や補習を計画実施し、生徒の多様な進路希望にも対応することができた。さらに、科目の選択の際に、希望する進路に合わせたガイダンス指導は適切にできた。	各学年において英国数を中心とした進学者補習を平日の放課後や長期休業中に行った。また、年間計画にしたがって各種模試を行った。大学・短期大学・看護医療系の入試に向けて、教員が分担して小論文指導と面接指導にあたった。進路業者主催の校外での進路ガイダンスが年に数回あるが、参加者は数名で自主参加となっている。	補習計画などは学年や教科主体となっているが、進路に応じた補習は引き続き行ってゆく必要がある。小論文指導や面接練習は学年を越えて多くの教員に担当いただく必要があり、引き続き協力をお願いしたい。進路業者主催の進路ガイダンスを案内はしているが、参加は希望者で数名であり、多くの生徒がバスで参加できるように校内の体制を検討してゆきたい。	B
			2	係・学年にとどまらない全校職員による進路指導体制を確立し、保護者に対しても情報提供、個別相談や相談を行う機会を設けることができた。	3年生の就職対策では、外部講師や企業担当者、学年の教員により何度も面接指導を行い、内定を決めることが出来た。また進学対策では小論文指導・進学者補習など学年を越えて多くの教員に指導していただいた。 2年の夏休みインターンシップでは、係と学年の教員中心に、企業との打ち合わせ・生徒への連絡を分担した。保護者懇談の時に進路状況や学費の説明など資料の提供ができた。	面接指導・小論文指導は3学年の先生を中心に、多くの先生方に協力いただき実施することが出来たので、引き続きお願いしてゆきたい。 就職希望者は計画に沿って進めてゆくことが出来たが、進学希望者も出願に向けての準備が進められるような対策を考えてゆきたい。 保護者に対する進路情報の提供を保護者懇談会やPTA総会の機会にできるように工夫してゆきたい。	B
	生徒指導・教育相談	暴力・いじめを許さない指導の徹底	1	入学時の指導や様々な集会・講演会、HR指導などを通じて、いじめ・暴力を未然に防ぐ指導が徹底できた。	SNSへの投稿については、講師を招いての講演等や日々の注意喚起により、大きなトラブルはなかった。いじめはなく、対人関係についても大きなトラブルはなかった。例年より落ち着いていると思われる。ただ、特性を持ったものによる人間関係でのトラブルは若干あった。	今後も継続して、集会・講演会・HR指導などを通して、人を傷つける言動は絶対に行かないということ、事あるごとに啓発し、人のために行動できる人材の育成に努めていく必要がある。また、SNSの普及などにより、集団のなかでの人との接し方などについて、困難を抱えている生徒が増えてきており、人間関係構築力を高めるための方策を検討していかなければならない。	B
			1	交通安全講習会、自転車点検、HR指導などを通じて、いのちの大切さと交通安全に対する意識を高めることができた。	春先に1年生を対象に自動車学校で実技を含めた研修を実施し、交通事故は自損事故（転倒など）が2件であった。自転車乗車時のヘルメット着用については、さらに啓発を進めていく必要がある。	今の1年生、次年度の入学生には、基本的にヘルメットの着用を義務づけて行く方向で考えていく必要がある。	B
			1 2	校内巡視・学校生活態度改善カード活用で、生徒の授業に取り組む姿勢を向上させることができた。また、校外巡回指導により、駅・列車内・通学路での生徒のマナー向上が実現できた。遅刻、身だしなみ、貴重品管理等の指導により、基本的な生活習慣を身に着けさせることができた。	落ち着いた学校生活を送れている。年間通しての校内巡視を行っているが、盗難が何件か発生してしまい残念である。貴重品の管理の徹底を図っているが、一部の生徒の危機意識は希薄である。地域の方からの苦情などもほとんどなく、本校生は落ち着いていると評価されている。	現金盗難が何件もあり、更に規範意識を高めるとともに、貴重品などの管理意識を高める指導を継続していきたい。身だしなみについては、今後も継続して指導をし、TPOを意識した行動をできるよう育成していきたい。特定の生徒の遅刻があり、学期ごとの遅刻者指導を学年指導として継続していく。	B
			1	学年・担当係と連携し、SCやSSWなどを有効に活用して、生徒・保護者に適切な支援を行うことができた。	相談会議やアセス(学校環境適応感)アンケートなどから課題のある生徒を把握し、担任と連絡を取り合い、SCなど外部機関に繋げることができた。今後も早めに状況を把握し、支援に繋げていきたい。継続的な支援が必要な生徒が多いので次年度も今年度並のカウンセリング時間が必要と思われる。	今年度同様、定例の相談会議で課題のある生徒の情報を共有し、生徒に寄り添う支援を行っていききたい。次年度も県スクールカウンセラー重点派遣校の申請を行う。生徒の人間関係の構築力向上を図っていききたい。	B
	生徒の自主活動	〔生徒会活動〕 生徒が主体的に活動するための適切な助言と指導	3	生徒会活動を通して、生徒が主体的に活動することを支援できた。	毎週火曜日の執行部会で、様々な企画を検討し、生徒が主体となる支援をすることができた。今年度の生徒会基本方針「結び〜学年の壁を超えて一つに〜」より、昨年度とは違った全校で行う企画を検討することができた。	来年度も全校生徒が生徒会活動に携われるように、全生徒が委員会に所属することを引き続き行っていききたい。	B
3			クラブ活動の定着率・加入率増加を目指し、生徒が自主的に活動することを支援できた。	今年は4月にクラブオリエンテーション、クラブ見学、クラブ結成式を実施することが出来た。1年生の加入率は39.6%だった。他校と比べると加入率は低く、また高体連主催の大会への参加率も低い傾向にある。	生徒会でのクラブ加入への呼びかけを教化するとともに、クラブの活動調査をこまめに実施したいと考えている。また、入部した生徒が3年間クラブ活動を続けていけるような対策を、生徒会を中心に学校全体で検討していききたい。	C	
3			地域と連携した様々な活動を通して、地元の方々との信頼を深めることができた。	今年も昨年引き続き地域文化伝承活動「科野のムラお田植え祭」に参加することができた。また、平成20年より続いている屋代駅のイルミネーションについては、設置することができ、地元の方々との交流をする機会ともなり良かった。本年度も赤い羽根共同募金を全校に呼びかけ、約4000円を千曲市社会福祉協議会へ寄付することができた。	地域行事への参加も長く続いている伝統があるため引き続き大切にしていききたい。地域への行事参加や交流について、興味関心をもっている生徒が増えているため、全校に呼びかける機会を増やしていきたい。	B	
学校運営	開かれた学校づくり	1 3	地域の教育力を様々な場面で活用することができた。	外部講師の活用や生徒会活動などで地域の教育力を活用する取り組みができた。	できる限り地域行事への参加や外部講師の活用を進めていきたい。	B	
		1 3	HP等を通じて、本校の活動に関する情報をわかりやすく提供している。	HPの更新を随時行い、多くの情報をわかりやすく提供することができた。	来年度も引き続き、積極的にHPの更新を行う。	A	
		1 2 3	HPや電子媒体等を通じて、本校の活動に関する情報をわかりやすく提供している。	HPを積極的に活用し、学校内外での生徒の活躍について随時提供することができた。	より多くの保護者に生徒の活躍や学びの様子を知っていただける工夫を重ねていく。	A	
	校内研修	学習指導に関わる研修	1 2 3	保護者や学校評議員による評価をもとに教育活動の改善を図れた。	12月に保護者による学校評価アンケートを実施した。9割以上の全体回答率を得て課題の改善を図った。	アンケートで指摘された事例を真摯に受け止め、さらなる改善を図っていく。	B
			2	学習指導及び進路指導充実のための研修会を実施できた。授業改善のための相互授業見学・研究授業を実施できた。	「学習評価」に関する校内研修やICT支援員によるチャットGPTの研修会を行った。また、2回の公開授業を実施するとともに、複数回の研究授業を行うことで教員間での学び合いを深めた。	教員間で互いのアイデアを共有する機会を積極的につくるとともに、県内外での先進的な取り組みについて学び合える研修会を計画、実施していく。	B
			1	多様化する生徒を理解し、人権意識を高めるための研修会を実施できた。	生徒支援係として、生徒理解のための研修を実施した。	どのような研修が必要なのかを検討し、次年度以降も生徒のために役立つ研修を実施していきたい。	A
	安全管理	職員の資質向上に関わる研修	1	綱紀粛正に努め、信頼される教職員集団として活動するための研修を実施できた。	年間を通して職員会議の中で、学校長よりコンプライアンス等についての研修を行った。	職員一人一人が自分事と捉え、職員同士での学びあう機会が持てるような職員研修の計画立案をしていく。	B
			1	生徒の安全な学習環境を維持することができた。	適宜、校内環境の整備を行っている。	校内安全点検を継続し、必要に応じて修繕をしていく。	B
			1	緊急時対応の方策を確認するなど、危機管理意識を高める取り組みができた。	10月に防災訓練を実施した。消火器を用いた消火体験も実施し、実践的な訓練を行うことができた。	防災のみならず、防犯対策も含めた緊急時対応訓練についても計画的に実施していく。	B